生徒数 ３４２名（ １年生１０３名 ・ ２年生１０９名 ・ ３年生１３０名　 教職員数 ３１名

五中だより

自主
協力
創造

令和４年５月３１日 発行
第 ２ 号
新潟市立新津第五中学校

生徒も教師も達成感を味わい，自己有用感を実感できる学校

努力と成果について～その２～【全校朝会　田中校長先生の講話より抜粋、要約】

　新年度のスタート、振り返ってみて、どうだったでしょうか。新しい出会いを楽しんでいますか？　私は、様々な機会で、みなさんと交わす会話が楽しくたくさんのよさを感じる場面がたくさんあります。

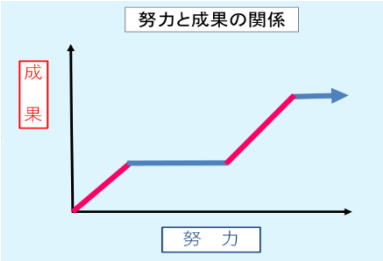
・自分の考えも交えながらきちんと答えを述べてくれること
・挨拶は、いつも皆さんのよさとして挙がりますが、場面に応じた声の大きさ　会釈などの仕草などが全体的に心地よく感じること

などがそうです。

～（中略）～

　昨年度「努力」と「成果」の関係についての話をしましたが、その続きを話します。

・長い期間で見てみると、このように階段状になるといえるそうです。
・大切なことは、このなかなか成果がでないときに、「自信と目標をもつこと」「努力を継続すること」「最後までやりぬくこと」といわれています。とういう話を１年前にしました。

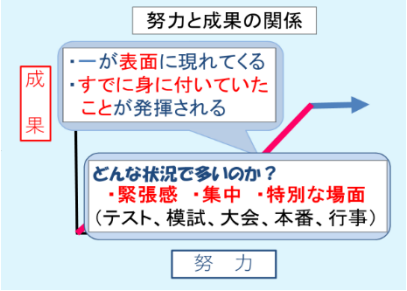


　今回は、成果が出ている状況の赤い斜線の部分について話をします。この部分はどういう状況かというと、青線の部分が表面に出てくる、つまり、すでに身に付いていたことが発揮される状況と言われます。逆に、身に付いていなければ、出てこないということです。

　次に、どんな場面で、このような赤線の状況が出やすいかというと

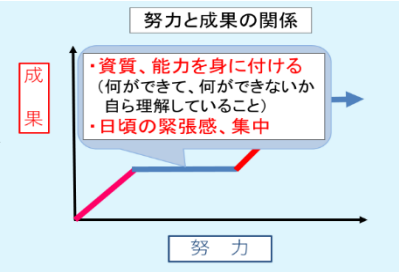
・緊張感のある場面　　・集中しているとき　　・特別な場面

などの状況が挙げられ、学校生活の具体的な場面に当てはめてみると「テスト」「模試」「各種大会」「行事の本番」などが考えられます。部活動の大会で、試合を勝ち上がるごとに強くなる、と言われることがありますが、緊張や集中が高まる状況が、内在する力を引き出しているというのです。もちろんすでに身に付いていなければ、そもそも出てこないということに注意が必要です。



　そうすると、このことを踏まえたとき、青線の部分では何が大切か、何が鍵を握るかという点について、次のようなことも大切なこととして考えられます。

・何ができて、何ができないか自ら理解しながら、必要な資質、能力を確実に身に付けておく。
・日頃から緊張感、集中を高め、内に秘めた力を表に出し、不十分な所を自分で判断できるようにしておく。



　プロ野球で話題の監督が、テレビのコメントで「練習を本番と同じ気持ちで、集中して行うようになってほしい」と述べていましたが、このこととつながります。

　学習、部活動、仲間とのかかわりで、一人一人の目標や達成度はそれぞれ違うと思いますが、今後の取組の参考にしてほしいと思います。

第１回　生徒総会

５月 13 日（金）に第１回生徒総会を実施しました。生徒会長の話をはじめ、リーダーの堂々とした姿に感心しました。全校生徒が集中し、緊張感のある生徒総会を実施することができました。１年間、充実した生徒会活動になることを願っています。

令和４年度　生徒会スローガンは

「開花」～今こそ咲かそう！笑顔の花を～　になりました！！

２年生　職場体験

２年生が、５月 17 日（火）、18 日（水）に職場体験を実施しました。2 日間にわたり 35 カ所の事業所の皆様に受け入れていただきました。体験を通し生徒は、働くことの意義や楽しさを学びました。受け入れていただいた事業所の皆様、感謝いたします。

PTA 施設委員会　花壇整備作業

５月 22 日（日）に PTA 設備委員会の皆様に中庭の花壇整備作業を実施していただきました。夏に向けて、開花が楽しみです。ご協力いただいた皆様、感謝申し上げます。

陸上競技部大会の結果　さすが五中生　！　頑張りました！！

【新潟市陸上競技選手権大会】

男子走高跳　　５位　白井　千聖さん、男子走高跳　６位　木村　郁海さん

男子円盤投　　５位　白井　遥紀さん、女子走高跳　３位　渡辺　葉月さん

【新潟市市民総合体育祭陸上競技大会】

男子 110mH　３位　白井　千聖さん

○　学校の様子は，『五中ホームページ』に掲載されていますのでご覧ください。

たよりに関するお問い合わせや五中生徒に関する情報などは，
教頭（堀口）または教務主任（川上）までご連絡ください。（Tel　２２－０４７７）

五中ホームページアドレス：　http://www.daigo.city-niigata.ed.jp/